

令和3年度 e・アンケートモニター  
第2回アンケートNo.1 調査結果  
テーマ「性の多様性について」

I 調査の概要

1 調査の目的

LGBTなど性的指向や性自認を理由として困難な状況に置かれている方々に対する関心や認知度は、性の多様性を巡る社会的な動きが進んできたことで高まりつつあるものの、一方で、当事者が実際に直面している困難については、周囲には見えづらいことから、県民の理解や配慮が進みにくい状況にあります。

LGBTなどの方々に関する県民の理解を促進し、性の多様性を認め合う意識の醸成を図るためには、人権尊重の観点からの取組が必要です。

本アンケートは、今後、山口県において、性の多様性に関する取組を行っていくための基礎資料として御意見を伺うものです。

2 調査実施期間

令和3年8月13日(金)～8月27日(金)

3 調査対象

令和3年度e・アンケートモニター 109人

4 回答状況

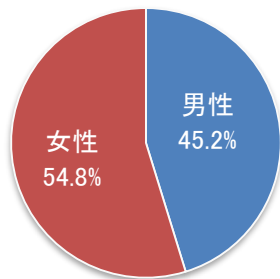
回答者 84人(回答率 77.1%)

5 調査担当課

山口県環境生活部男女共同参画課

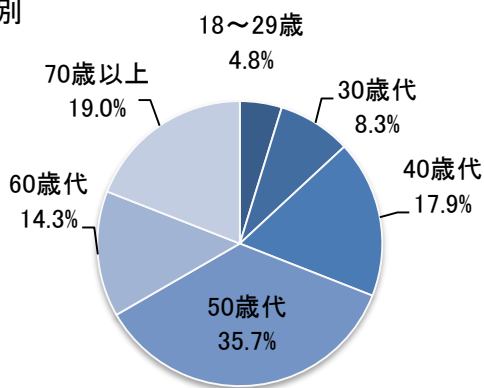
II 回答者の属性

■性別



区分	人数	%
男性	38	45.2
女性	46	54.8
計	84	100.0

■年代別



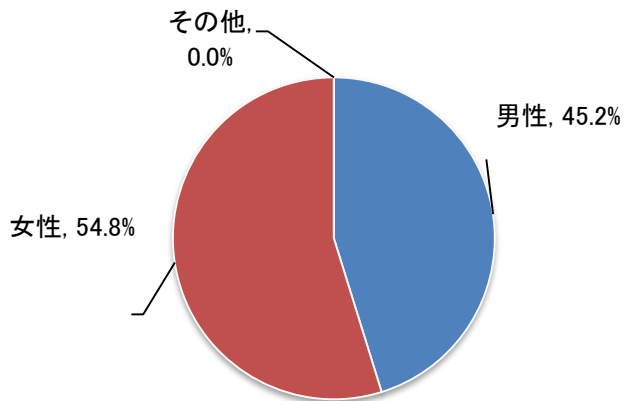
区分	人数	%
18～29歳	4	4.8
30歳代	7	8.3
40歳代	15	17.9
50歳代	30	35.7
60歳代	12	14.3
70歳以上	16	19.0
計	84	100.0

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が100.0%とならない場合があります。

### Ⅲ 調査結果

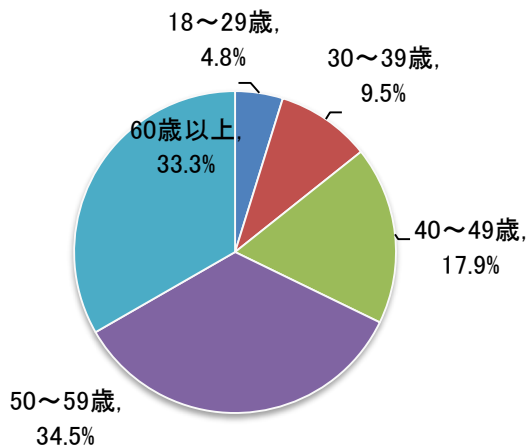
#### 【あなた自身についてお答えください】

Q1 あなたの性別を選んでください。(1つのみ)



選択肢	人数	%
男性	38	45.2
女性	46	54.8
その他	0	0.0
計	84	100.0

Q2 あなたの年齢を選んでください。(1つのみ)

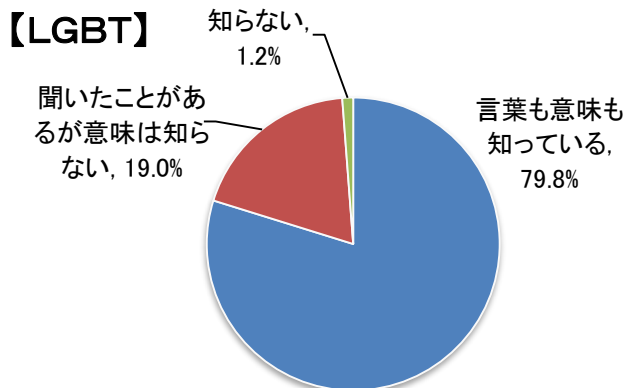


選択肢	人数	%
18～29歳	4	4.8
30～39歳	8	9.5
40～49歳	15	17.9
50～59歳	29	34.5
60歳以上	28	33.3
計	84	100.0

#### 【用語の認知度】

Q3 あなたは、性の多様性に関する以下の言葉を知っていますか、あてはまるものを選んでください。(1つのみ)

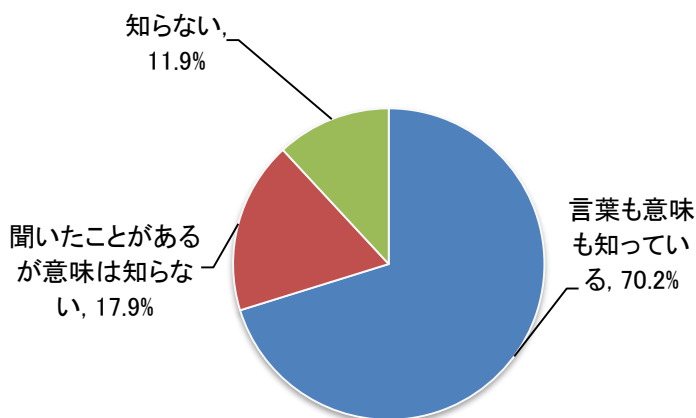
※用語の定義は法務省人権局ホームページによる。



選択肢	人数	%
言葉も意味も知っている	67	79.8
聞いたことがあるが意味は知らない	16	19.0
知らない	1	1.2
計	84	100.0

LGBT:レズビアン(女性の同性愛者)、ゲイ(男性の同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(身体の性と心の性が一致しないため、身体の性に違和感をもつ人)の頭文字を組み合わせた言葉で、性的少数者(セクシュアルマイノリティ)を表す言葉の一つとして使われることもある。

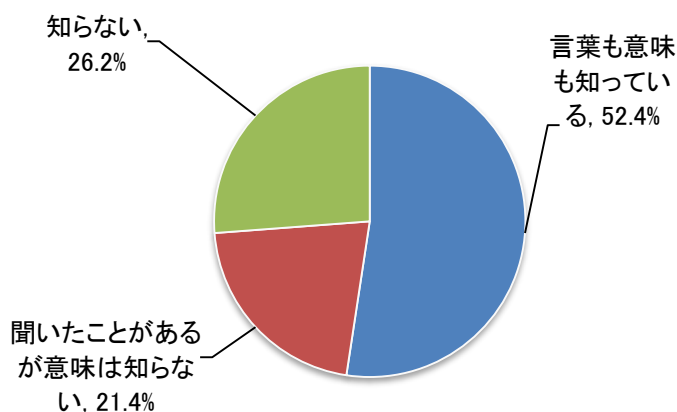
## 【性的指向】



選択肢	人数	%
言葉も意味も知っている	59	70.2
聞いたことがあるが意味は知らない	15	17.9
知らない	10	11.9
計	84	100.0

性的指向:どのような性別の人を好きになるかということ。自分の意思で選び取るというより、多くの場合思春期の頃に「気づく」もの。

## 【性自認】

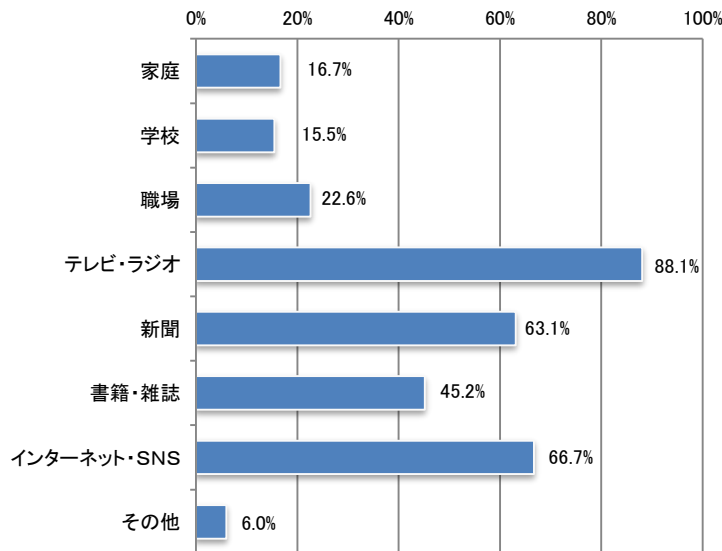


選択肢	人数	%
言葉も意味も知っている	44	52.4
聞いたことがあるが意味は知らない	18	21.4
知らない	22	26.2
計	84	100.0

性自認:性の自己認識。自分の性をどのように認識しているかということ。「心の性」と言われることもある。

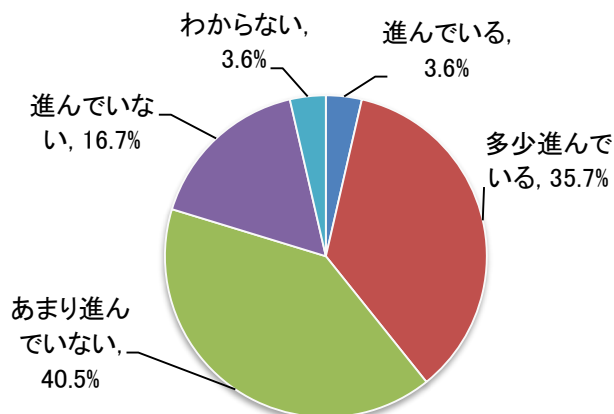
【性の多様性についての認知・認識】

Q4 あなたはこれまで、以下の場面にておいて、LGBTなどの方々に関すること等、性の多様性についての情報を聞いたことがありますか。(いくつでも)



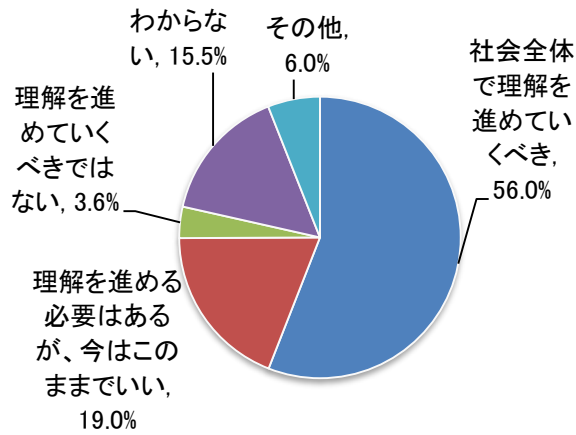
選択肢	人数	%
家庭	14	16.7
学校	13	15.5
職場	19	22.6
テレビ・ラジオ	74	88.1
新聞	53	63.1
書籍・雑誌	38	45.2
インターネット・SNS	56	66.7
その他	5	6.0

Q5 社会全体において性の多様性についての理解が進んでいると思いますか。(1つのみ)



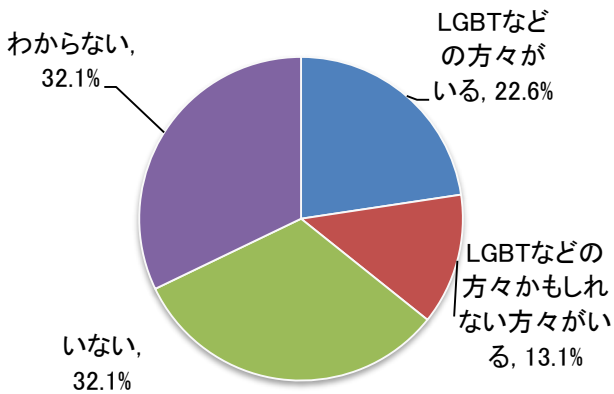
選択肢	人数	%
進んでいる	3	3.6
多少進んでいる	30	35.7
あまり進んでいない	34	40.5
進んでいない	14	16.7
わからない	3	3.6
計	84	100.1

Q6 あなたは、性の多様性についてどのような感じていますか。(1つのみ)



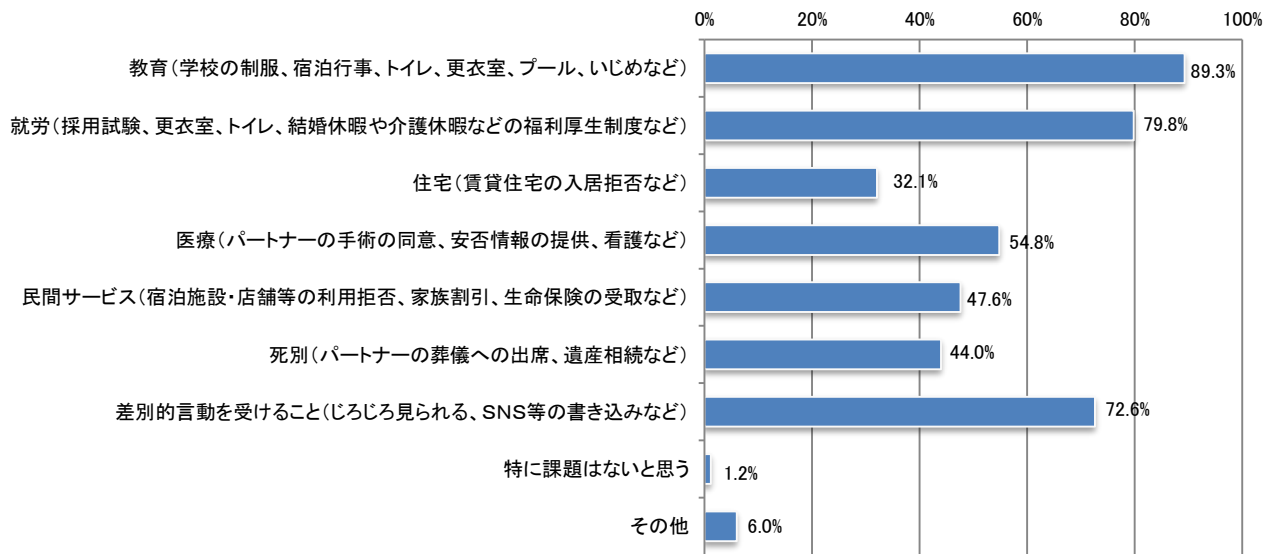
選択肢	人数	%
社会全体で理解を進めていくべき	47	56.0
理解を進める必要があるが、今はこのままでいい	16	19.0
理解を進めていくべきではない	3	3.6
わからない	13	15.5
その他	5	6.0
計	84	100.1

Q7 あなたの周囲にLGBTなどの方々はいますか。(1つのみ)



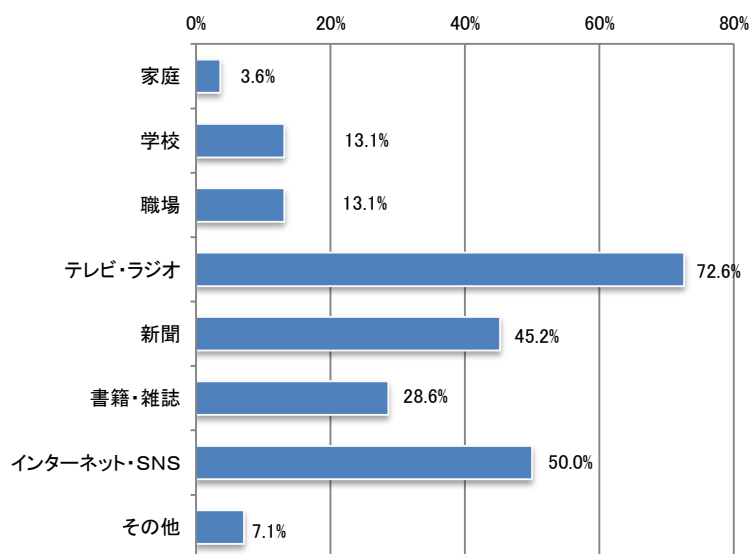
選択肢	人数	%
LGBTなどの方々がいる(過去にいたことがある場合を含む)	19	22.6
LGBTなどの方々かもしれない方々がいる(過去にいたことがある場合を含む)	11	13.1
いない	27	32.1
わからない	27	32.1
計	84	99.9

**Q8** LGBTなどの方々が、日常生活を営む上で直面している課題・困難は何だと思いますか。(いくつでも)



選択肢	人数	%
教育(学校の制服、宿泊行事、トイレ、更衣室、プール、いじめなど)	75	89.3
就労(採用試験、更衣室、トイレ、結婚休暇や介護休暇などの福利厚生制度など)	67	79.8
住宅(賃貸住宅の入居拒否など)	27	32.1
医療(パートナーの手術の同意、安否情報の提供、看護など)	46	54.8
民間サービス(宿泊施設・店舗等の利用拒否、家族割引、生命保険の受取など)	40	47.6
死別(パートナーの葬儀への出席、遺産相続など)	37	44.0
差別的言動を受けること(じろじろ見られる、SNS等の書き込みなど)	61	72.6
特に課題はないと思う	1	1.2
その他	5	6.0

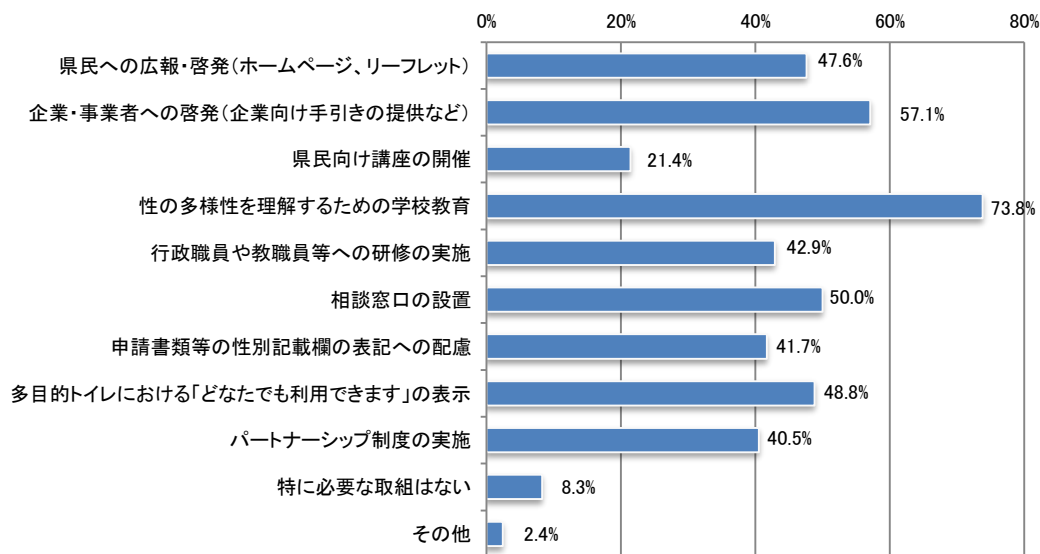
**Q9** あなたはこれまで、以下の場面において、LGBTなどの方々がQ8のような困難に直面しているのを見たり聞いたりしたことがありますか。(いくつでも)



選択肢	人数	%
家庭	3	3.6
学校	11	13.1
職場	11	13.1
テレビ・ラジオ	61	72.6
新聞	38	45.2
書籍・雑誌	24	28.6
インターネット・SNS	42	50.0
その他	6	7.1

【今後の県の取組について】

Q10 性の多様性に対する理解の促進や支援のために必要だと思う取組を選んでください。  
(いくつでも)



選択肢	人数	%
県民への広報・啓発(ホームページ、リーフレット)	40	47.6
企業・事業者への啓発(企業向け手引きの提供など)	48	57.1
県民向け講座の開催	18	21.4
性の多様性を理解するための学校教育	62	73.8
行政職員や教職員等への研修の実施	36	42.9
相談窓口の設置	42	50.0
申請書類等の性別記載欄の表記への配慮	35	41.7
多目的トイレにおける「どなたでも利用できます」の表示	41	48.8
パートナーシップ制度の実施	34	40.5
特に必要な取組はない	7	8.3
その他	2	2.4

Q11 性の多様性に関する今後の県の取組について、ご意見がありましたらお願いします。  
(全角300字以内)

省略